

2025年度 年金経理・業務経理

予算

年金経理

年金の給付や掛金、資産運用など年金業務に関する経理

○ 予定損益計算書 (2025年4月1日～2026年3月31日)

支出 ▶ 39億28百万円

年金給付費	44億61百万円
年金、一時金給付費、移換金	
運用報酬等	2億37百万円
業務委託費等	54百万円
責任準備金増加額	▲824百万円

収入 ▶ 39億28百万円

掛金等収入	20億77百万円
収益受入金	18億51百万円

5年に一度の財政再計算実施
までの単年度収支は、責任準備金増減
(みなし益またはみなし損)として
処理することになっています。



業務経理・業務会計

基金運営に必要な費用に関する経理

○ 予定損益計算書 (2025年4月1日～2026年3月31日)

支出 ▶ 4,410万円

事務費	4,231万円
雑支出	179万円

収入 ▶ 4,410万円

事務費掛金等収入	3,720万円
当年度不足金	690万円

常務理事交代による引き継ぎで
事務費(労務費)が増加。
2025年度も繰越剰余金を取り崩して
対応します。



資産運用と資産構成割合 (2025年2月20日現在)

当基金では、みなさんが退職したときの退職金として、年金や一時金の支払いに備えて年金資産を積み立てています。この年金資産の積み立ては、会社の掛金と年金資産を運用して得た収益によって成り立っています。運用にあたっては、安全かつ効率的に収益を確保できるよう、「運用の基本方針」を定め、すべての運用機関に送って、遵守していただいています。資産運用については、基本方針に基づき、資産運用検討委員会、代議員会で検討し、下記のように資産構成割合を決定し運用しています。

剰余別枠資産のねらい リスクの抑制と安心感のある資産運用(運用環境が悪化しても剰余別枠資産は減少しません)

2024年度の政策資産配分比率

① 剰余別枠資産 336億円	② 責任準備金相当資産			
	③ 安定資産	④ 収益追求資産		
	一般勘定・円建債券 43%	国内株式 18%	外国株式 14%	オルタナティブ投資 25%

②の資産で、「予定利率(2.5%)+手数料0.5%=3.0%」の運用収益をめざす

資産構成割合

資産合計
940億円
(2025年2月末時点)

